

## 巻 頭 言

### 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第 17 回学術大会に向けて

2023 年 5 月 20 日（土）、21 日（日）の 2 日間、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第 17 回学術大会を、沖縄県那覇市の「那覇文化芸術劇場なはーと」に於いて開催するため鋭意準備を進めております。

第 17 回学術大会のテーマは『安心と信頼の再構築』といたしました。新型コロナウイルス感染症収束の見通しがなかなか立たず医療体制が混乱している中で、原薬サプライチェーンの脆弱性などに起因してジェネリック医薬品の安定供給が揺らいでおります。2022 年度診療報酬改定では、ジェネリック医薬品の更なる使用促進を図る観点から、薬局及び医療機関における後発医薬品の調剤数量割合（後発品置換率）等に応じた評価について見直しが行われました。また、バイオ後続品に関して患者さんへの適切な情報提供を推進する観点から、外来化学療法を実施している患者さんに対して、バイオ後続品を導入する際の新たな評価が加わりました。

このようなジェネリック医薬品やバイオ後続品への切り替えが促進されるような診療報酬改定が行われている中で大切なことは、医師、薬剤師、患者がジェネリック医薬品とバイオシミラーのことを正しく知り、そして医薬品メーカーもその品質や安全性に関する情報提供と安定供給について万全の体制で臨むことだと思います。

沖縄県での日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会学術大会は、2017 年に大会長折井孝男先生により沖縄県名護市の万国津梁館にて第 11 回が開催されて以来、今回 6 年ぶりの開催となります。2017 年の第 11 回大会は、学会名が 2017 年度から日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会に変わった記念すべき大会でした。第 17 回学術大会では、医薬品の『安心と信頼の再構築』について新たな一歩を刻む大会となるべく、製薬メーカーや規制当局を含めて幅広く議論したいと考えております。

第 17 回学術大会は、デイゴの花が咲くころの沖縄で現地開催を予定しております。多くの皆さまの参加を心からお待ち申し上げます。

2022 年 12 月

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第 17 回学術大会

大会長 中 村 克 徳  
(琉球大学病院 教授・薬剤部長)